

福山みらい創造ビジョン
人口減少対策アクションプラン2022

2022年（令和4年）3月
福山市企画財政局
企画政策部企画政策課

目次

I 人口減少対策の方向性

- 1 人口減少対策の趣旨と計画期間
- 2 人口減少の状況
- 3 人口減少対策の方向性・目標
- 4 9つのペルソナと推進体制
- 5 ロードマップ

II 2022年度（令和4年度）の取組

- 1 主な取組
- 2 成果目標
- 3 施策一覧

III 参考 – ライフステージごとの分析 –

- 1 ライフステージごとの分析とペルソナ設定

I 人口減少対策の方向性

調査資料の記載方法等

- 人口関連統計データには、日本人のみと外国人を含むものがあり、タイトルの後ろにその旨を記載
- MA…複数回答, SA…単一回答
- N…アンケート回答者数（資料元に記載がない場合は未記載）
- 四捨五入により、合計が一致しない場合がある

I-1 人口減少対策の趣旨と計画期間

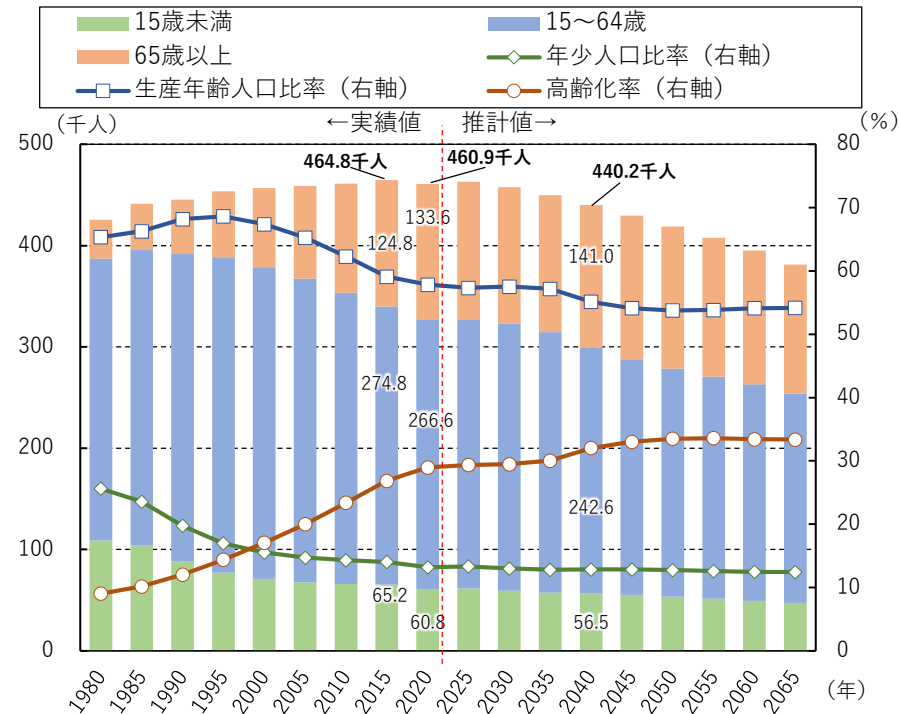
- 福山市の人口は、**2020年（令和2年）の国勢調査で460,930人**であり、1940年（昭和15年）以来の減少となりました。
- 国立社会保障・人口問題研究所の将来推計によると、**2040年（令和22年）には44万人まで減少**すると予測されています。
- 今後、人口減少が加速度的に進行することで、企業活動の縮小や生活利便性の低下、地域の魅力の低下といった悪循環が生じ、さらなる人口減少を招くおそれがあります。
- こうした悪循環を抑制するため、2018年（平成30年）8月に「新たな人口減少対策～強化策～」を策定し、2019年度（令和元年度）からアクションプランを基に、官民連携で人口減少対策に取り組んできました。
- 本プランは、出生数や転出入数などの**人口や意識変化に関するデータをライフステージごとに再分析し、より一層効果的な対策を打つために更新**するものです。
- なお、本プランは、2021年（令和3年）3月に策定した「福山みらい創造ビジョン」の柱の1つである「人口減少対策の強化」について取りまとめるものであり、**期間は、2022年度（令和4年度）から2025年度（令和7年度）まで**とします。
- 期間中に社会情勢の変化等があった場合は、適宜、本プランに反映し、具体的な取組についても毎年度更新します。

2021年度（令和3年度）～2025年度（令和7年度）
福山みらい創造ビジョン

人口減少対策強化

2022年度（令和4年度）～2025年度（令和7年度）
人口減少対策アクションプラン

【福山市の将来人口推計グラフ（年齢3区分別）（外国人を含む）】



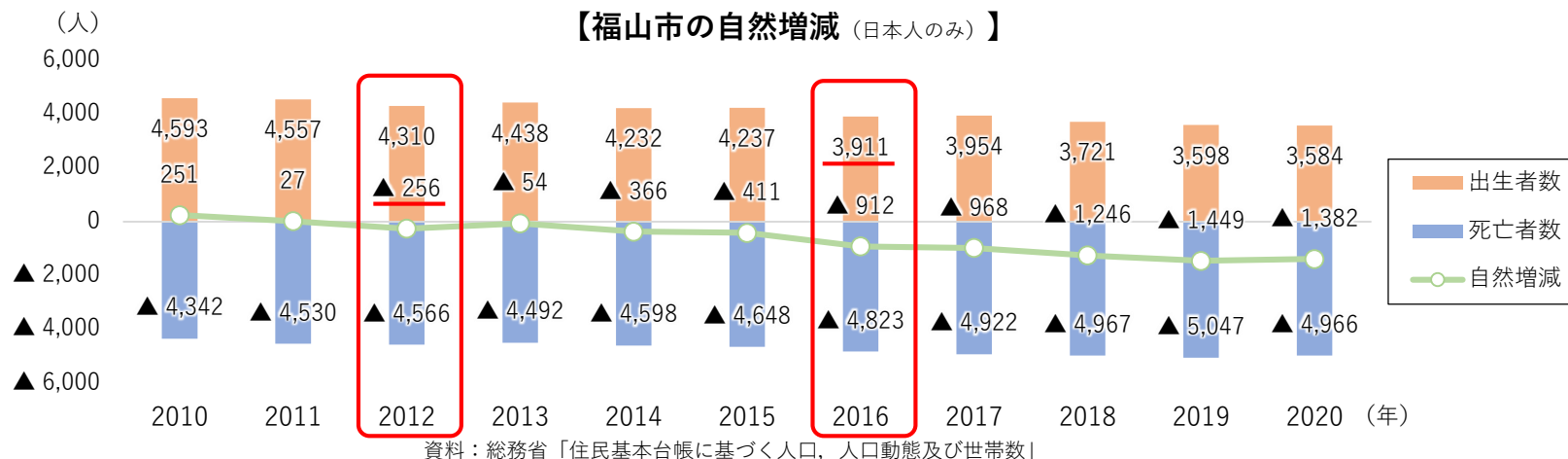
資料：総務省「国勢調査」、国立社会保障・人口問題研究所「日本の地域別将来推計人口」（平成30（2018）年推計）
※2020年までは国勢調査の実績値（年齢3区分人口は年齢不詳を按分した数値）、2025年以降は推計値



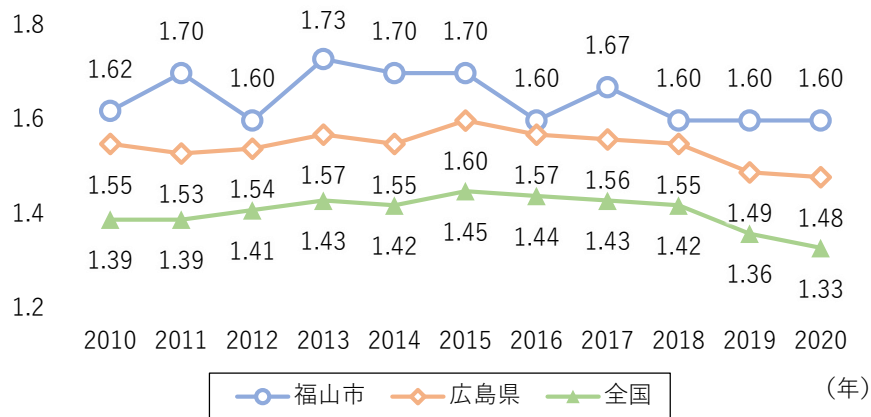
SDGs（Sustainable Development Goals の略：持続可能な開発目標）の実現に向け、多様な主体との創意工夫の下、新たな価値が創造される持続可能なまちづくりを進めていきます。

自然動態

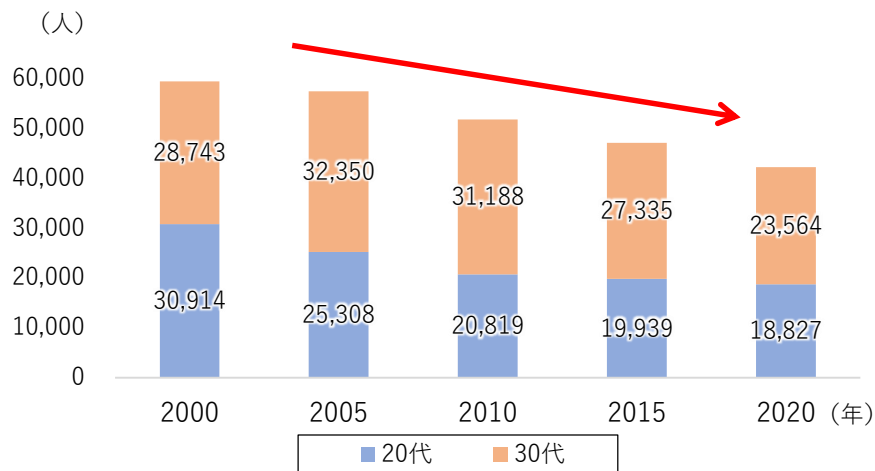
- 福山市の自然動態は、2012年（平成24年）以降自然減に転じており、出生者数は、2016年（平成28年）から4,000人を下回る状況が続いています。
- 合計特殊出生率は、全国や広島県と比べて高い数値を維持しているものの、若い世代の女性の数が減少していることが、出生数の減少に影響しています。



【合計特殊出生率の推移（日本人のみ）】



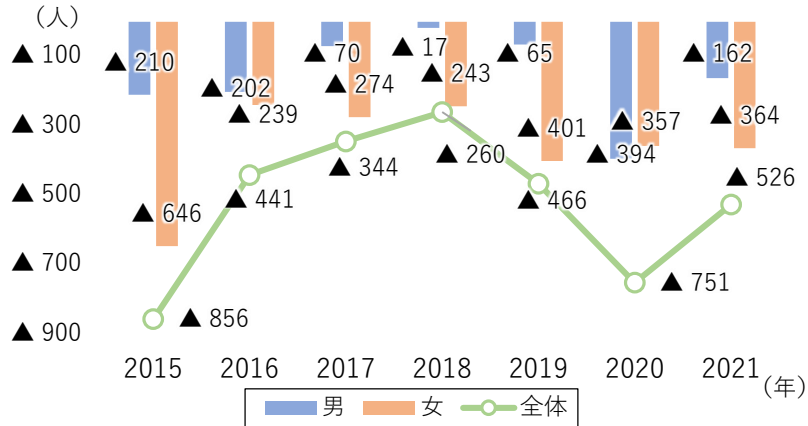
【20歳代・30歳代女性の人口（日本人のみ）】



社会動態

- 2021年（令和3年）は、男性の転出超過が改善されたことにより、前年と比べて転出超過が小さくなっています。
- 年代別では、15歳～24歳の転出超過が大きく、男女別では、特に女性で転出超過が大きくなっています。

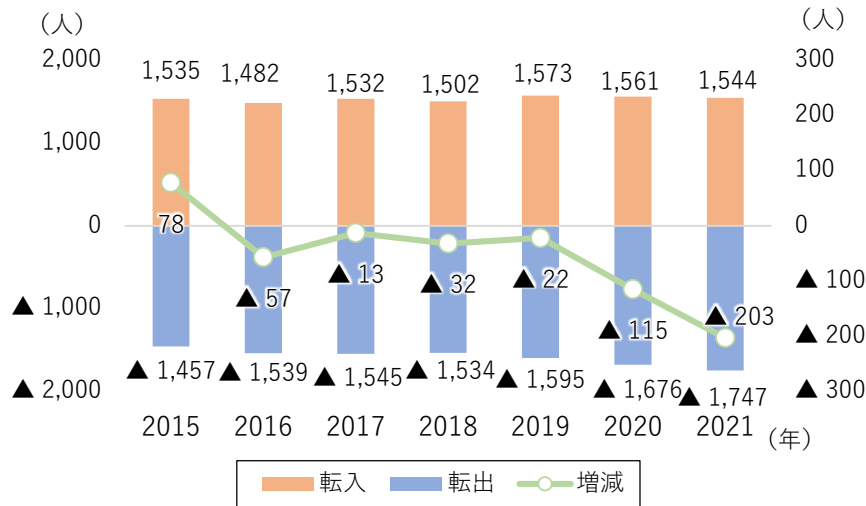
【転入超過数の推移（性別）（日本人のみ）】



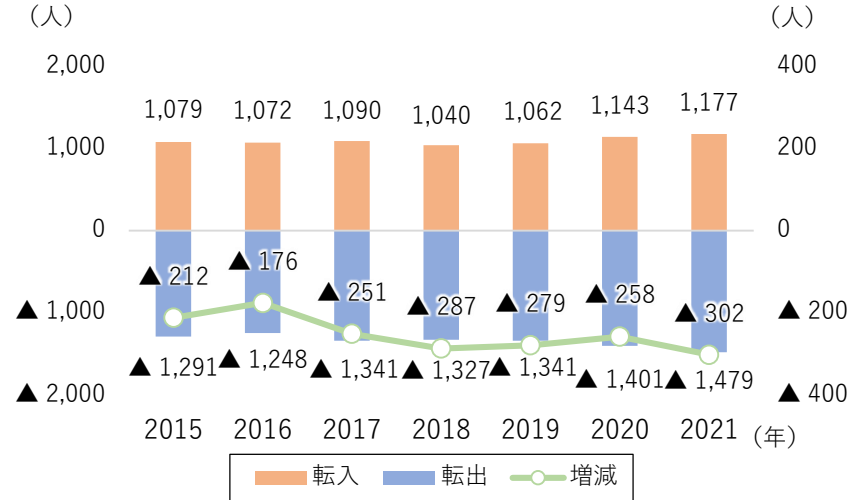
【2021年男女別年齢階級別転入超過数（年代別）（日本人のみ）】

	全体	男	女		全体	男	女
全体	▲ 526	▲ 162	▲ 364	45～49歳	▲ 44	▲ 42	▲ 2
0～4歳	▲ 98	▲ 28	▲ 70	50～54歳	▲ 17	▲ 33	16
5～9歳	▲ 50	▲ 7	▲ 43	55～59歳	18	2	16
10～14歳	▲ 24	▲ 2	▲ 22	60～64歳	12	0	12
15～19歳	▲ 119	▲ 13	▲ 106	65～69歳	0	3	▲ 3
20～24歳	▲ 386	▲ 190	▲ 196	70～74歳	11	6	5
25～29歳	3	▲ 4	7	75～79歳	10	5	5
30～34歳	▲ 3	35	▲ 38	80～84歳	11	6	5
35～39歳	83	41	42	85～89歳	28	18	10
40～44歳	17	35	▲ 18	90歳以上	22	6	16

【15歳～24歳男性 転出入数の推移（日本人のみ）】



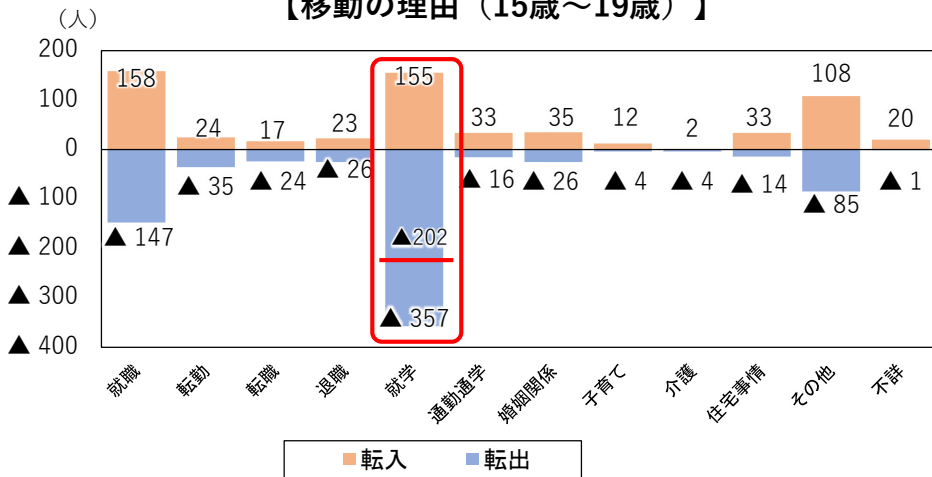
【15歳～24歳女性 転出入数の推移（日本人のみ）】



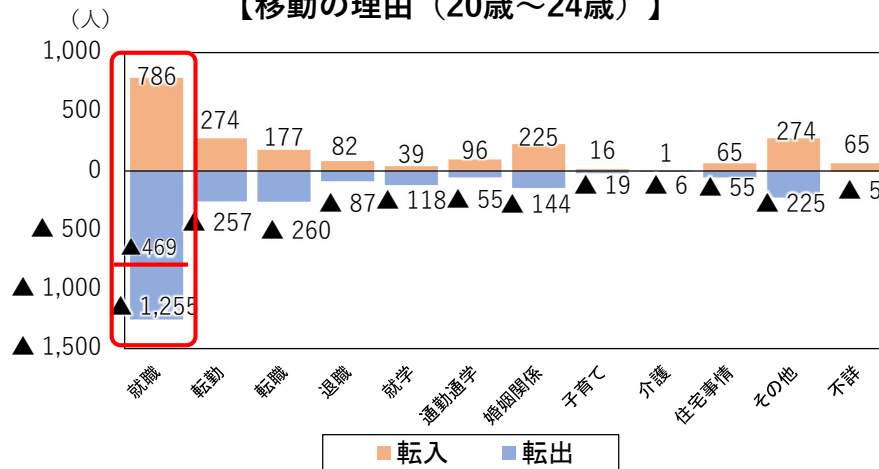
社会動態－転入・転出の要因－

- ・ 転出入の理由を年代別に見ると、**15歳～19歳は就学**、**20～24歳は就職による転出超過**が大きくなっています。
- ・ 高校卒業時に**約6割が市外に進学**しています。
- ・ コロナ禍でテレワークが浸透したことなどにより、**地方で働く・暮らすことへの関心**が高まっています。

【移動の理由（15歳～19歳）】



【移動の理由（20歳～24歳）】

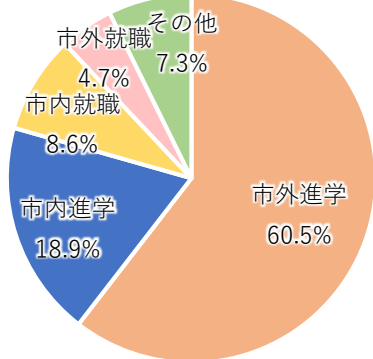


資料：広島県「人口移動統計」（2020年10月～2021年9月）から作成
 ※広島県「人口移動統計」の理由別移動者数は任意調査のため、総務省「住民基本台帳移動報告」に基づく
 福山市の転入数・転出数（日本人のみ/2021年）に合致するよう補正を行い理由別移動者数を推計した。

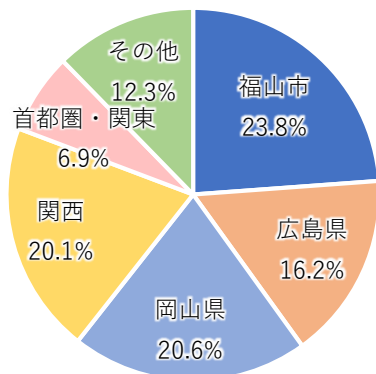
参考

【高校生の進路（SA）】

進路（就職、進学）（N=3,952）

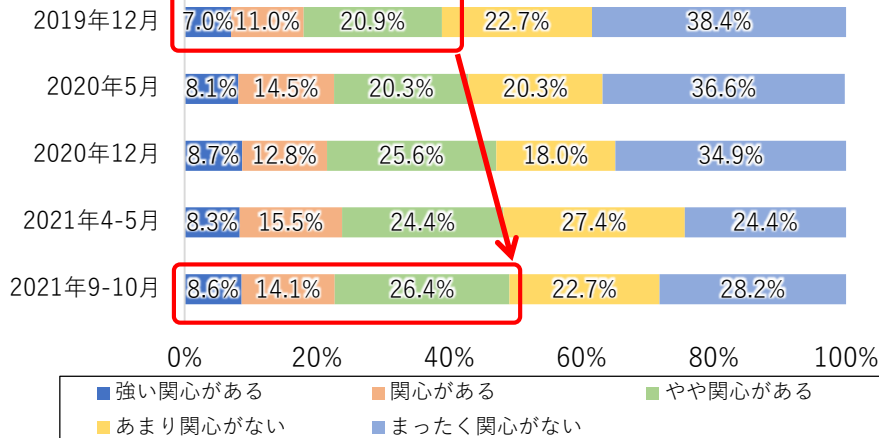


進学先（N=3,138）



資料：福山市「高校生進学先調査」（2021年4月）

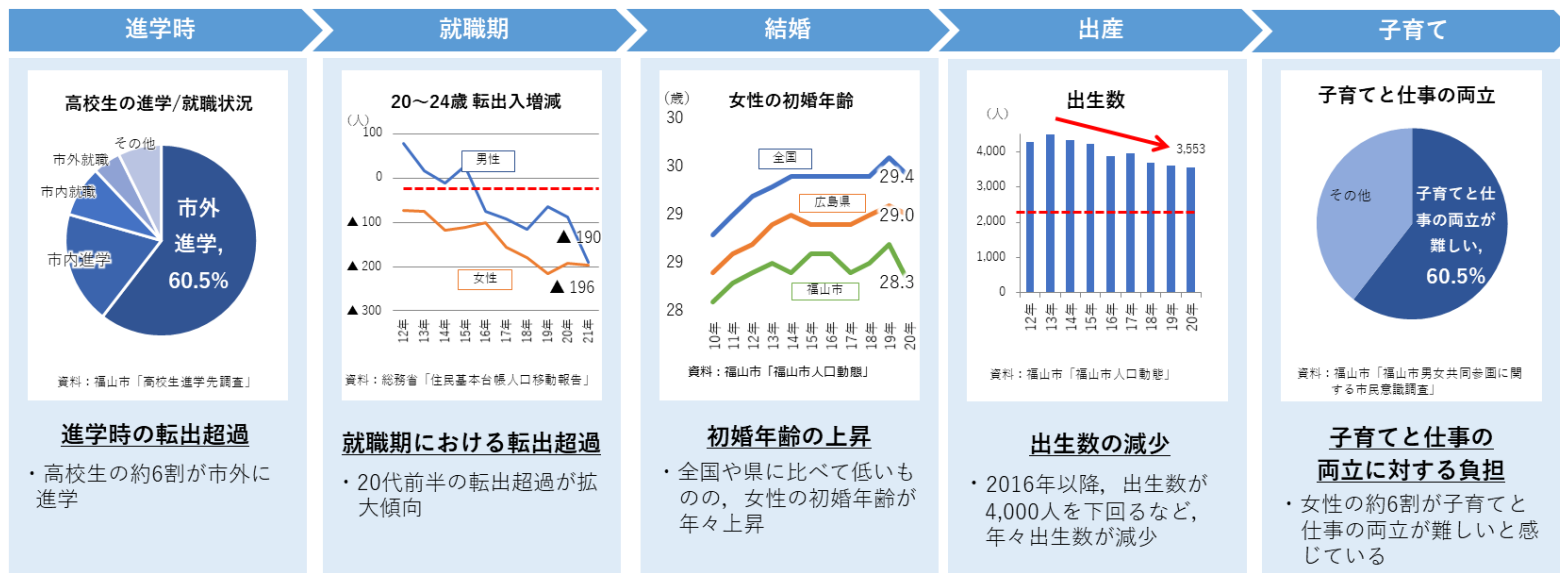
【地方移住への関心（東京都23区在住者）（20歳代）（SA）】



資料：内閣府「第4回新型コロナウイルス感染症の影響下における生活意識・行動の変化に関する調査」（2021年11月）

進学期～子育て

- 本市の人口動態を見ると、特に進学期、就職期や出産などのライフステージにおけるそれぞれのタイミングで人口減少が進行しています。
- 晩婚化や、共働きなどによる子育てと仕事の両立に対する負担の増加などにより、今後、さらに少子化が加速することも懸念されます。



移住

- コロナ禍でテレワークなど柔軟な働き方が浸透したことなどにより、**地方で働く・暮らすことへの関心が高まっています。**

人口減少が起きるターニングポイントにある人々の意識・考え方、価値観、社会の動きなどの変化を捉え、**政策ターゲット(ペルソナ)**を設定し、**満足度を高める施策を推進**します。働き方や結婚、子育てなどの選択肢が多様化している中で、一人一人が思い描くライフスタイルを叶え、**人口減少社会でも選ばれる「多様なライフスタイルが実現できるまち」**をめざします。

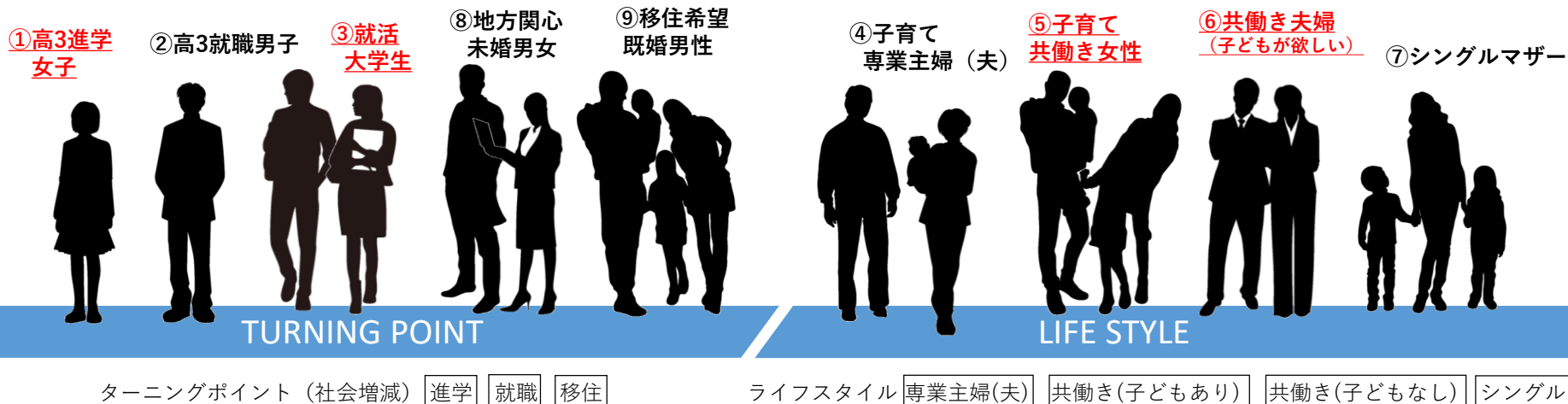
2040年の目標

多様なライフスタイルが実現できるまち

チャレンジへの選択肢がたくさんある / 希望のライフスタイルへのサポート / 多様性を尊重しあえる心

9つのペルソナ

- 人口減少対策を3つのターニングポイントと4つのライフスタイルで捉え、9つのペルソナを設定します。
- 特に人口増減に影響のある4つのペルソナに重点的に取り組みます。



推進体制

- 官民で役割を分担し、人口減少対策のための取組を企画・実行する組織として「みんなのライフスタイル応援会議」を設置し、オール福山で人口減少対策に取り組んでいます。
- 新たな施策構築や取組の強化に向け、戦略推進マネージャーや市外大学等の外部有識者などとも連携します。

産 学 金 官 民

みんなのライフスタイル応援会議

企画提案・実行
市内企業等に取組の輪を拡大



支援

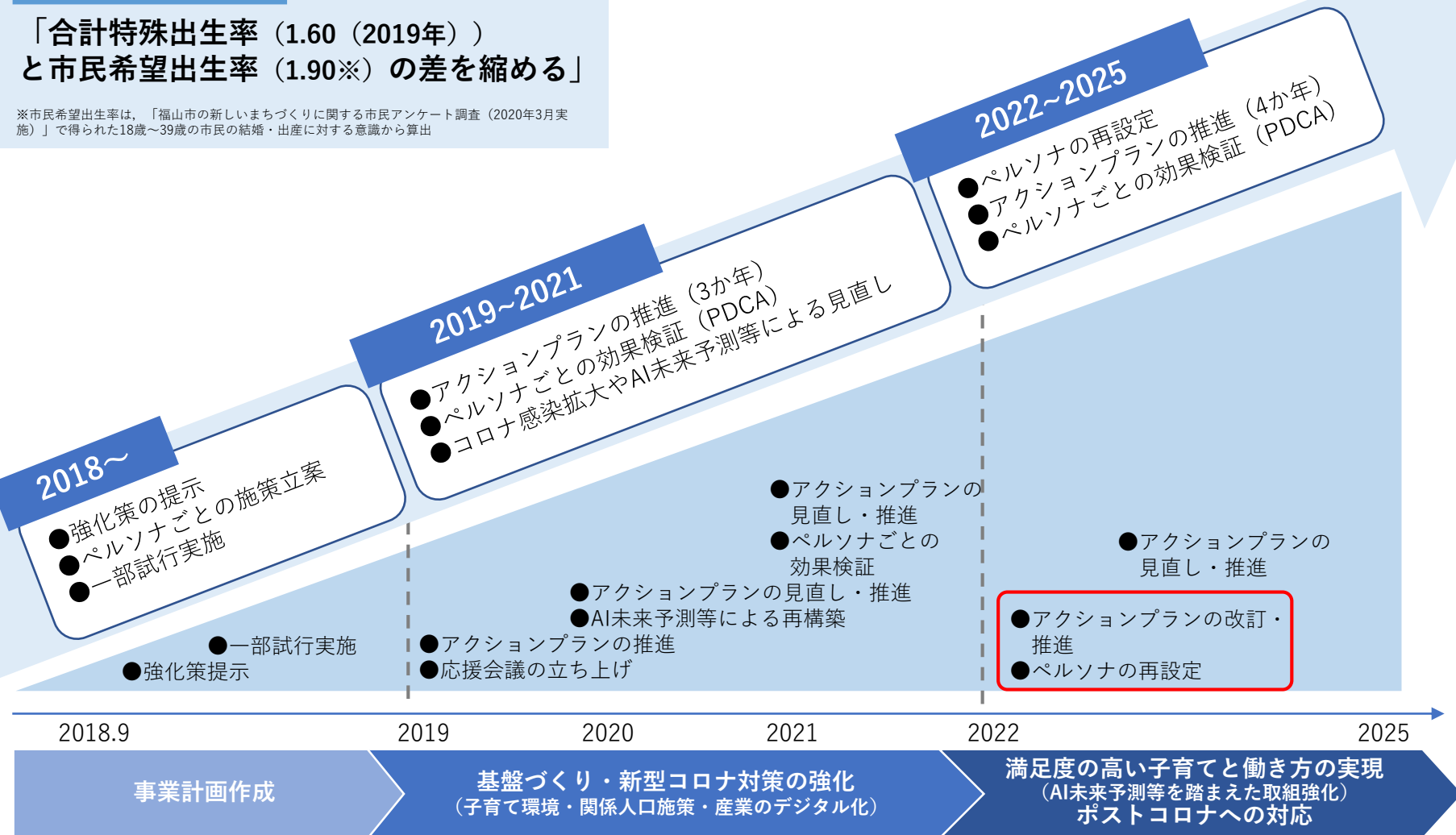
外部有識者

アクションプランの作成や
新たな施策構築等への助言

全体指標

「合計特殊出生率（1.60（2019年））
と市民希望出生率（1.90※）の差を縮める」

※市民希望出生率は、「福山市の新しいまちづくりに関する市民アンケート調査（2020年3月実施）」で得られた18歳～39歳の市民の結婚・出産に対する意識から算出



- ・ネウボラ相談窓口「あのね」の拡充
- ・経済的負担の軽減（こども医療費助成の拡充など）
- ・ワーケーション、兼業・副業人材の活用
- ・中小企業のデジタル化支援
- ・小児救急医療拠点病院の指定 など

「子どもが健やかに成長できる環境の充実」
「男性の育児参加促進」
「希望の働き方ができる環境づくり」
「地域とつながる関係人口づくり」 など

- 2020年度（令和2年度）に実施した京都大学及び株式会社日立製作所との共同研究により、**子育て世帯に起こりうる未来を予測**しました。
- 理想の子どもの数の上昇や、満足度の高い子育て・働き方の実現に向けて、**短期・中期・長期で達成すべきポイント**を導出し、その達成に向けて必要となる取組を**2021年度（令和3年度）から強化**しています。

【重点ペルソナ】
3人目を考えている25～39歳
子育て中の共働き女性

分岐点に必要な主な状況（ポイント）

- ・ 経済的な余裕の実感
- ・ 子育てや仕事のストレス軽減
- ・ 男性の家事・育児サポートの定着
- ・ 子どもが健やかに成長できる環境の充実
- ・ 三世代や地域での子育て支援体制の充実
- ・ 女性が働きやすい、働きたくなる職場の増加

主なポイント

親子で楽しめる環境の充実
(イベント、文化施設、スポーツ環境)

主なポイント

仕事と生活が共に充実

30年後

理想の子どもの数の
上昇・実現
満足度の高い子育て
と働き方の実現

分岐

分岐

分岐

現在

2025

10年後

15年後

25年後

10年後の分岐までに 必要なポイントを達成

- ・ 子どもが健やかに成長できる環境の充実
- ・ 男性の育児参加促進
- ・ 三世代や地域における子育て支援の充実
- ・ 経済面の不安の解消 など

各分岐点から予測される
他の未来の特徴

女性の活躍が少ない
プライベートの幸福度が低い

仕事に疲弊、
親子の関係が悪化

出生率が上がらない

Ⅱ 2022年度（令和4年度）の取組

子どもが健やかに成長できる環境づくり (ペルソナ④・⑤)

親子で学び・楽しめる時間の充実

- **ふくやま子育てママ応援スクールの開催**
(親子が一緒に楽しめる運動スクールの開催)
- **「ミニえほんの国」の開始**
(地域子育て支援拠点事業所における絵本の読み聞かせや貸し出し)
- **びんごキッズラボの開催**
(デジタル技術や科学に触れ、学べる機会の創出)

男性の育児参加促進 (ペルソナ④・⑤)

子育てと仕事の両立支援

- **〈拡〉 男性の育児休業取得支援**
(企業が男性社員の育児休業取得者の代替人材を雇用する場合に、その経費を補助)

希望の働き方ができる環境づくり (ペルソナ③・⑧)

デジタル化の促進

- **中小企業のデジタル化への支援** (生産性向上、採用活動のオンライン化など)
- #### 企業の魅力向上
- **SDG s に取り組む企業への支援** (セミナーの開催、商品開発等への補助など)
 - **サテライトオフィス等の整備の推進** (整備費用の補助)



地域とつながる関係人口づくり (ペルソナ⑧)

地域とのつながりの創出

- **〈拡〉 ワークেশョンの拡充、兼業・副業人材の更なる活用**
(人材と地域をつなぐコーディネーターの配置、兼業・副業を活用したシンポジウム等の実施)
- **エフピコRiMの再生**
(iti SETOUCHI (イチセトウチ) のオープン。ワークスペースやシェアオフィスなどの開設)



ペルソナ①

進学期
【高校生】

福山で暮らす “未来を描く”

市外大学への進学を考えている 高校3年生の女子



広島市や岡山市など近隣の地方都市か大阪圏の大学へ進学したい。
将来戻るかはわからない。

福山駅周辺に友達と遊んだり買い物できる場所が少ない。

年齢：18歳
性別：女性（未婚）
職業等：高校生（大学受験を控えている）

子ども：なし
住まい：福山市に在住（実家）

※詳細は29～30ページ

キャリアデザイン×ライフデザインの構築支援

○ 〇びんご看護ネットのリニューアル

- ▶ 「びんご看護ネット」のサイトをリニューアルし、学生に看護職として備後で暮らすことの魅力を発信

○ 若者人材育成等支援事業（出前講座）

- ▶ 産業支援コーディネーターによる職業観の醸成や地元企業の認知度向上を目的とした講座の開催

地元定着の促進

○ 未来創生人材育成奨学資金

官民連携

- ▶ 金融機関と連携した奨学ローンに対して、市内就職を条件に返済を補助
- ▶ デジタル人材・保育士・看護師に加え、グローバル人材を新たに対象として追加

駅周辺のにぎわい創出

○ ウォーカーブル推進事業

- ▶ 中心市街地の歩道などにオープンカフェやベンチ等を設置するなど、歩いて楽しい空間づくりの推進



【企業による学生への出前講座】



【ほこみち制度を活用したテラス営業によるにぎわい創出】

ペルソナ②

進学期
【高校生】

福山で働く・暮らす “未来を描く”

地元企業への就職を予定している 高校3年生の男子



仕事は、デスクワークより体を動かす職場が希望。
市内の製造業に就職したい。

でも、市内で、安心して働き続けることができる企業についての
知識がなくて不安。

年齢：18歳
性別：男性（未婚）
職業等：高校生（就職希望）

子ども：なし
住まい：福山市に在住（実家）

※詳細は29～30ページ

市内企業の認知度向上・職業観の醸成

○ 高校生向けの企業・職業説明会

➤ 高校生を対象とした企業・職業説明会の開催

○ 企業と学校の交流会

官民連携

➤ 地元企業への理解を深めるため、高等学校の教員と企業の交流会を実施

○ ゲンバ男子

官民連携

➤ 製造業の現場で働く若者を専用サイトを通じて紹介し、製造業界における若者の人材確保・イメージアップを促進



【高校生向けの企業・職業説明会】



【ゲンバ男子による情報発信】

ペルソナ③

就職期 【大学生】

学生が企業の “理解を深める”

福山で就職するかどうかが悩んでいる 大学3年生



福山で就職するかどうかが悩んでいる。地元企業のことでもわからなくて不安。

テレワークやWeb会議など、デジタル化に取り組んでいる職場で働きたいな。

福山駅周辺の魅力が高まり、にぎわいが増えるといいな。

年齢：21歳
性別：男女（未婚）
職業等：大学生（就職活動中）

子ども：なし
住まい：通学している大学の近隣
（賃貸住宅）

※詳細は31～32ページ

市内企業とのマッチング強化

○ 企業説明会の開催 官民連携

- 【市外大学生向け】市外大学生を対象として、広島・大阪などで合同企業説明会を開催
- 【市内・市外大学生向け】福山市・府中市の企業の説明会を一部オンラインで開催

○ Webインターン等コンテンツ開発支援事業

- 企業の人事担当者向けに、Webインターンのコンテンツ開発などオンラインによる採用活動支援のワークショップを開催

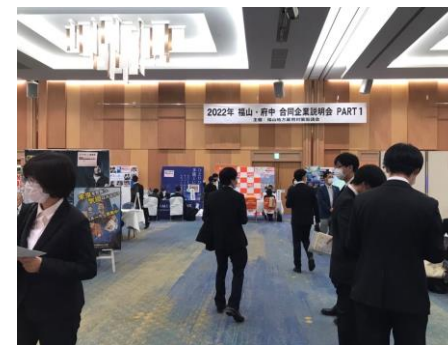
地元就職の魅力向上

○ ふくやま I T 導入支援事業費補助

- 生産性の向上のため、中小事業者等に対して、IT設備やシステムの導入、施設のIoT化を支援

○ SDG s に取り組む企業への支援

- SDGsの視点を踏まえた設備導入や商品開発への補助



【合同企業説明会の開催】



ペルソナ④

子育て期 【専業主婦（夫）】

みんなの “働きたい”を応援

出産を機に退職した25～39歳 子育て中の専業主婦（夫）



子どもに何かあっても夫（妻）は休んでくれないので、仕事を辞めた。

子育てが少し落ち着いたら、子育てとの両立ができるよう、生活に合った働き方をしたい。

2人目がほしいけど、家事や育児のストレスが溜まって、体と心がしんどい。

年齢：31歳
性別：男女（既婚）
職業等：専業主婦（夫）

子ども：1人（乳幼児）
住まい：福山市に在住

※詳細は33～35ページ

子育てと仕事を両立しやすい職場環境づくり

○ 〈拡〉 男性の育児休業取得支援

- ▶ 企業が男性社員の育児休業取得者の代替人材を雇用する場合に、その経費を補助
- ▶ 2022年度（令和4年度）から、男性従業員が育児短時間勤務制度を利用した企業に対し、奨励金を支給

経済的な負担の軽減

○ ファイナンシャルプランナー相談

- ▶ ライフプランや経済面の不安などについてのファイナンシャルプランナーへの相談

心と体のストレスケア

○ ⑧ ふくやま子育てママ応援スクール

- ▶ 妊娠をきっかけに運動習慣がなくなった母親の健康づくり意識の向上や、運動不足解消、子どもとの触れ合いを楽しめる環境を提供



【ファイナンシャルプランナー相談】



【子育てママ応援スクールの開催】

子育て期 【共働き女性】

子どもの成長に “幸せ”を感じる

3人目を考えている25～39歳 子育て共働き女性



3人目を考えているけど、経済面の不安だけでなく、夫の育児参加にも不満。

夫の会社に休暇制度はあるけど、子どもの体調不良などで休むのはいつも私。

近くに家族で楽しめる場所があるといいな。

年齢：38歳
性別：女性（既婚）
職業等：会社員

子ども：2人（幼児（保育所））
住まい：福山市に在住

※詳細は33～35ページ

子育てサポートの充実

○ 福山ネウボラの運営

- ▶ ネウボラ相談窓口「あのね」（市内13か所）を核とした妊娠期～子育て期まで切れ目ない支援の実施

保育環境の充実

○ 保育所などの入所制度の充実

- ▶ 保育士の職場復帰に向けた支援や兄弟姉妹が同一園に入所できるよう、更に制度を充実

○ ④スマート保育の実施

- ▶ 保護者との連絡、各種様式のデジタル化や、タブレットやセンサーなどのICT機器を活用したスマート保育の実施

子どもが健やかに成長できる環境づくり

○ 〈拡〉親子で学び・楽しめる場の充実

- ▶ （仮称）子ども未来館基本計画の策定、「ミニえほんの国」の開始、びんごキッズラボの開催や子育て世帯向けのイベントの開催



【スマート保育の実施】



【親子で楽しめる「ミニえほんの国」の実施】

ペルソナ⑥

子育て期

【共働き夫婦（子どもが欲しい）】

妊娠・出産・子育ての “不安解消”

妊娠を希望している25～39歳 共働き夫婦



結婚して5年。そろそろ子どもがほしいが、経済面で不安。

不妊治療にも行きたいけど、仕事との両立が難しい。

年齢：34歳
性別：男女（既婚）
職業等：会社員

子ども：なし
住まい：福山市に在住

※詳細は33～35ページ

出産にかかる負担の軽減

○ 不妊治療・不育症治療費の助成

- ▶ 医療機関における一般不妊治療や特定不妊治療、不育症治療に係る自己負担額を一部助成し、妊娠を希望する夫婦の経済的負担を軽減

妊娠と仕事の両立支援

○ ふくやまワーク・ライフ・バランス認定

- ▶ 仕事と家庭が両立できる職場環境づくりに向けて、企業への周知啓発を実施

○ 女性の就業改善補助

- ▶ 女子更衣室や女子トイレなど、職場における女性の就労環境の改善を行う企業に対する補助



ペルソナ⑦

子育て期 【シングルマザー】

“社会”で 子育てをサポート

二人の子どもを育てている25~39歳 **シングルマザー**



子育てや教育にお金がかかるので、経済的に不安。

頼れる人や気軽に相談できる人が近くにいたらいいな。

子育てとの両立がしやすい、柔軟な働き方ができる職場で働きたい。

年齢：30歳
性別：女性（未婚（離婚））
職業等：会社員

子ども：2人（小学生・幼児（保育所））
住まい：福山市に在住（賃貸住宅）

※詳細は33~35ページ

子育て・教育に関する支援

○ひとり親家庭等子どもの生活・学習支援事業

- ▶ 公立高校受験に向けた学習支援や進路相談、生活指導などの実施

子育てサポートの充実

○ファイナンシャルプランナー相談(再掲)

- ▶ ライフプランや経済面の不安などについてのファイナンシャルプランナーへの相談

働く・暮らすことに関する支援

○ひとり親家庭自立支援事業

- ▶ 就労支援、高等学校卒業程度認定試験の合格支援や、高等技能の資格取得への支援



移住 【地方関心未婚男女】

福山で働く・暮らす “体験の場”を提供

地方での「働く・暮らす」に関心がある25～39歳 **未婚の会社員**



住む場所に制限されない働き方を実現したいが、なかなか一歩が踏み出せない。

地方への関心が高まっているが、地域の人や地元企業との関わりがなく、暮らしや働き方のイメージが湧かない。

年齢：30歳
性別：男女（未婚）

職業等：会社員（クリエイティブ（IT・デザイン）系）
子ども：なし
住まい：首都圏・関西圏に在住（賃貸住宅）

※詳細は36～37ページ

希望の働き方の実現

○ サテライトオフィス等整備補助

- ▶ 民間事業者によるサテライトオフィスの整備などに要する費用の補助


地域とのつながりの創出

○ **〈拡〉ワーケーションふくやまの推進**

官民連携

- ▶ 首都圏などの人材と地域のコミュニティをつなぐコーディネーターの配置
- ▶ 医療版ワーケーションの試行実施

○ **兼業・副業人材の活用**

- ▶ 兼業・副業を活用したシンポジウム・交流会等の実施
- ▶  圏域内市町における高度専門人材の共有と活用

○ **エフピコRiMリノベーション再生事業**

官民連携

- ▶ 市内外の人や企業の活動拠点としての機能を整備（ワークスペースやシェアオフィスなど）



【ワーケーションの推進】



※福山電業（株）提供

【エフピコRiMの再生】

移住 【既婚の男性会社員】

移住者が “暮らしたい”まち

一家で移住を考えている25～39歳 既婚の男性会社員



自然豊かな環境で子育てをしたいが、待機児童や地方の教育環境が不安。

地元で家を持つことや親の介護など、将来設計を考えないと。

関西圏など都市部の企業に就職したけど、自分のスキルを地元の企業で生かしたい。

年齢：37歳
性別：男性（既婚）
職業等：会社員

子ども：2人（幼児（保育所）・乳幼児）
住まい：備後圏域出身（Uターン希望）
関西圏等に在住（賃貸住宅）

※詳細は36～37ページ

子育て・教育・生活環境の充実

○ 子どもの個性を尊重した学びの充実

- ▶ 常石ともに学園（イエナプラン教育校）や広瀬学園（特認校）の開校

移住後の生活スタイルを発信

○ 地域おこし協力隊による情報発信

官民連携

- ▶ 田舎暮らしの情報・魅力をSNSなどで発信

移住促進策の強化

○ 移住支援事業費補助

- ▶ 東京23区在住者又は通勤者が、県の求人情報サイトを通じて市内企業に就職し、福山市に移住した場合に支援金を支給

○ 企業の人材確保支援の強化

- ▶ 市内企業が求める人材と都市圏等の転職希望者をマッチングし、インターンシップを実施



【イエナプラン教育校の開校】



Ⅱ-2 成果目標

ペルソナ	2025年度 成果目標	実績値（最新）
ペルソナ① 高3進学女子	○将来、福山市に戻ってきたいと思う高3進学女性の割合：60.0% ○高校3年生の市内企業の認知度：60.0%	48.5%（2021年度） 47.3%（2021年度）
ペルソナ② 高3就職男子	○高校生の地元就職率：75.0%	65.5%（2021年度）
ペルソナ③ 就活大学生	○20歳～24歳の男女転出入数：±0人	386人転出超過 （2021年）
ペルソナ④ 子育て専業主婦（夫）	○女性の就業率（30歳～34歳配偶者あり）：70.0%	61.5%（2017年）
ペルソナ⑤ 子育て共働き女性	○子どもの成長に幸せを感じる共働き女性の割合：100.0% ○自分の時間が持てると回答した女性の割合：100.0% ○男性の育児休業取得率：30.0%	100.0%（2021年度） 80.4%（2021年度） 11.7%（2020年度）
ペルソナ⑥ 共働き夫婦（子どもが欲しい）	○（ふくやまワーク・ライフ・バランス認定事業者のうち） 女性従業員の妊娠に対する配慮を行っている企業の数：65社	57社（2020年度）
ペルソナ⑦ シングルマザー	○児童扶養手当受給者における全部支給者の割合：50.0%	55.6%（2022年1月末）
ペルソナ⑧ 地方関心未婚男女	○25歳～39歳の男女転出入数：50人転入超過	83人転入超過 （2021年） ※参考値：220人転出超過（2020年）
ペルソナ⑨ 移住希望既婚男性	○福山市への移住意向：20.0%	14.2%（2019年）

Ⅱ-3 施策一覧

ペルソナ						分類	事業名	予算額 (単位：千円)	担当部署
①	②						若者人材育成等支援事業（出前講座）	487	産業振興課
①	②						高校生会議	200	青少年・女性活躍推進課
①	②						グローバル人材育成事業費	1,262	福山中・高等学校
①	③						市外大学への通学支援	15,000	企画政策課
①	②					新規	びんご看護ネット改修事業	2,800	保健部総務課
①	③						未来創生人材育成奨学資金貸付事業（奨学ローン元利補給補助）	369	学事課
②							高校生向けの企業・職業説明会	400	産業振興課
②							企業と学校の交流会（雇用対策協議会事業）	-	産業振興課
②							ゲンバ男子	-	産業振興課
③	⑨						就職支援事業費補助（就職試験への交通費に対する補助）	200	産業振興課
③	④	⑤	⑥	⑦			【国事業】働き方改革相談窓口の設置	-	産業振興課
③	④	⑤	⑥	⑦			健康経営促進セミナーの開催	-	企画政策課
③	④	⑤	⑥	⑦			ふくやまワーク・ライフ・バランス認定	170	産業振興課
③							就職支援サイト（就活ふくやま）	1,433	産業振興課
③							雇用対策協議会事業（オンライン就職合同企業説明会など）	8,700	産業振興課
③							出張合同企業説明会	1,891	産業振興課
③							看護職員確保対策事業（学生向け市内就職支援セミナー）	1,618	保健部総務課
③							企業と大学生のマッチング強化（モグジョブ）	-	産業振興課
③	①						福山駅前デザイン会議等の運営	24,410 ※国の補正予算に伴う前倒し	福山駅周辺再生推進課
③	①						ウォークابل推進事業	70,735	福山駅周辺再生推進課ほか
③	①						三之丸町地区優良建築物等整備事業	291,620	福山駅周辺再生推進課

ペルソナ						分類	事業名	予算額 (単位：千円)	担当部署
③	⑨						備後圏域プロモーション事業	1,399	企画政策課
③	④	⑤	⑥	⑦			ふくやまIT導入支援事業費補助金	10,000	産業振興課
③							中小企業のデジタル化支援（ものづくり大学）	2,660	産業振興課
③						拡充	びんごAI講座（ものづくり大学）	690	産業振興課
③	④	⑤	⑥	⑦			中小企業等に対するICT化支援の実施	51,200	デジタル化推進室
③	④	⑤	⑥	⑦			先端技術を活用できるLABOの展開	-	デジタル化推進室
③							ふくやまビジネスキャンプの開催	14,000	デジタル化推進室
③						新規	Webインターン等コンテンツ開発支援事業	300	産業振興課
③							奨学金返済支援事業費補助	4,800	産業振興課
③						新規	中小企業等SDGs推進事業費補助	5,053	産業振興課
③						新規	市内企業に向けたSDGsの周知	-	企画政策課
④							女性向け合同企業説明会	200	産業振興課
④							女性活躍推進事業	-	産業振興課
④							ハローワークと連携した就労・再就職支援	-	ネウボラ推進課
④							広島県ナースセンター・サテライト福山とのさらなる連携	-	保健部総務課
④	⑤	⑥	⑦	⑨			子育て支援情報の発信（アプリ、HP）	660	ネウボラ推進課
④	⑤	⑥	⑦				子育てにやさしい企業の発信	-	産業振興課
④	⑤	⑥	⑦				オンライン「おしゃべり広場」	-	ネウボラ推進課
④	⑤	⑥	⑦				地域子育て支援拠点事業	161,263	保育施設課ほか
④	⑤	⑥					子育て応援プレゼント事業	8,750	ネウボラ推進課
④	⑤	⑥	⑦				子育て世代FP相談会	334	ネウボラ推進課
④	⑤	⑥					妊娠・出産包括支援事業（産後ケア）	3,060	ネウボラ推進課
④	⑤	⑥					産婦健康診査	28,710	ネウボラ推進課

ペルソナ							分類	事業名	予算額 (単位：千円)	担当部署
④	⑤						拡充	男性育児休業取得促進事業費	1,000	産業振興課
④	⑤	⑥						こんには赤ちゃん訪問事業	5,980	ネウボラ推進課
④	⑤						新規	ふくやま子育てママ応援スクール	-	ネウボラ推進課ほか
⑤	④	⑦	⑨					ファミリー・サポート・センター事業	9,200	ネウボラ推進課
⑤	④	⑥	⑦	⑨				ネウボラ運営事業	80,766	ネウボラ推進課
⑤	④	⑦					新規	子育て支援アプリ機能拡充	2,057	ネウボラ推進課
⑤	④	⑦						休日保育事業	-	保育施設課ほか
⑤	④	⑦						保育補助者雇上強化事業	186,240	保育施設課
⑤	④	⑦						保育士資格取得支援事業	1,600	保育施設課
⑤	④	⑦						住居借上支援事業	4,000	保育施設課
⑤	④	⑦						公立保育所保育士の確保	330	保育指導課
⑤	④	⑦						就学前教育・保育施設の再整備	846,850	保育施設課
⑤	④	⑦						入所制度の充実	-	保育施設課
⑤	④	⑥	⑦				新規	医療的ケア児保育事業	42,882	保育施設課ほか
⑤	④	⑦					新規	スマート保育の実施	22,400	保育指導課ほか
⑤	④							子育てパパの育児参加促進（子育てパパ活躍ウィーク）	300	ネウボラ推進課ほか
⑤	④							びんまる男性育休記事	-	産業振興課
⑤	④							夢みるパパとママの会、男性育児講座	-	ネウボラ推進課ほか
⑤	④	⑥	⑦					えほんの国等運営事業	18,042	ネウボラ推進課
⑤	④	⑥	⑦					都市公園の整備	67,000	公園緑地課
⑤	④	⑥	⑦				新規	公園遊具整備計画策定事業	5,000	公園緑地課
⑤	④	⑥	⑦					（仮称）「子ども未来館」プロジェクト	16,665	企画政策課
⑤	④	⑥	⑦					びんごキッズラボ（中小企業等に対するICT化支援）	-	デジタル化推進室

ペルソナ						分類	事業名	予算額 (単位：千円)	担当部署
⑤	④	⑥	⑦				わがまち♡スポーツモデル事業	5,000	スポーツ振興課
⑤	④	⑥	⑦			新規	クレセントビーチ海浜公園設備整備	3,400	観光課
⑥							不妊治療費助成事業	73,014	健康推進課
⑥							不育症治療費助成事業	3,160	健康推進課
⑥							風しん抗体検査事業	-	保健予防課
⑥	③	④	⑤	⑦			女性の就業環境改善に対する補助	3,600	産業振興課
⑥	④	⑤	⑦			拡充	こども発達支援センター運営	126,512	こども発達支援センター
⑥	④	⑤	⑦				小児救急医療の提供	-	市民病院医事課
⑥	④	⑤	⑦				周産期医療学講座	20,033	保健部総務課
⑥	④	⑤	⑦				小児急性疾患学講座	10,273	保健部総務課
⑦							子育て世帯向け住宅改修事業（市営住宅の改修）	19,000	住宅課
⑦							就学援助	-	学事課
⑦							ひとり親家庭等子どもの生活・学習支援事業	13,214	ネウボラ推進課
⑦	⑤	⑥					放課後児童クラブの運営	-	保育施設課ほか
⑦							地域学習活動支援事業（放課後チャレンジ教室・土曜チャレンジ教室）	8,397	学びづくり課
⑦	④	⑤	⑥				子どもの医療費助成	582,650	ネウボラ推進課
⑦	⑤						病児・病後児保育事業	50,668	保育施設課
⑦							ひとり親家庭自立支援事業	82,962	ネウボラ推進課
⑦	④	⑤	⑥				子ども家庭総合支援拠点	85,425	ネウボラ推進課
⑦	④	⑤	⑥				児童見守り支援事業	9,470	ネウボラ推進課
⑧						拡充	ワーケーション推進事業（ワーケーションふくやま）	7,431	企画政策課
⑧	④	⑤	⑥	⑦		拡充	医療版ワーケーション実施事業	2,500	保健部総務課

ペルソナ							分類	事業名	予算額 (単位：千円)	担当部署
⑧	③	⑨					新規	サテライトオフィス等整備補助	102,000 ※国の補正予算に伴う前倒し	企業誘致推進課
⑧	①	③	④	⑤	⑥	⑦		エフピコR i Mリノベーション再生事業	86,000	福山駅周辺再生推進課
⑧	⑨							首都圏人材還流支援事業	7,438	企画政策課
⑧	⑨						拡充	高度専門人材活用推進事業（プロフェッショナル人材の活用）	7,084	企画政策課
⑨								小学校「学びづくりフロンティア校」事業	123	学事課
⑨								中学校「教科の専門性パワーアップ」事業	2,350	学事課
⑨								学力の伸びを把握する調査	-	学びづくり課
⑨								小中一貫教育推進事業	161,008	学びづくり課
⑨								芸術文化体験事業	4,000	学びづくり課
⑨								「学びを拓く学校図書館」充実プラン	23,000	学びづくり課
⑨								ICT教育機器整備事業（電子黒板の整備）	60,940	教育総務課ほか
⑨								イェナプラン教育の実践	2,100	学事課
⑨								特認校の運営	-	学校再編推進室
⑨	⑧							移住者等住宅改修費補助	1,800	住宅課
⑨								GIGAスクール事業（学習端末用の通信回線等）	58,671	教育総務課ほか
⑨								地域おこし協力隊	7,428	協働のまちづくり課
⑨	⑧							人材確保支援（インターンシップ）事業	6,000	産業振興課
⑨							新規	移住支援事業費補助	5,000	産業振興課

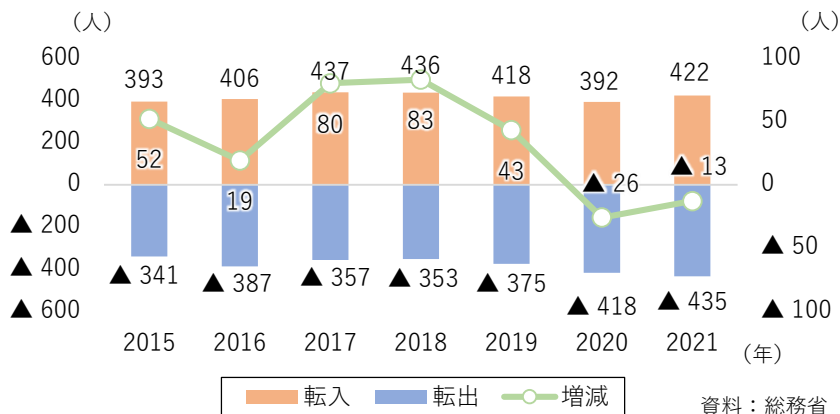
Ⅲ 参考 – ライフステージごとの分析 –

10歳代後半・進学期

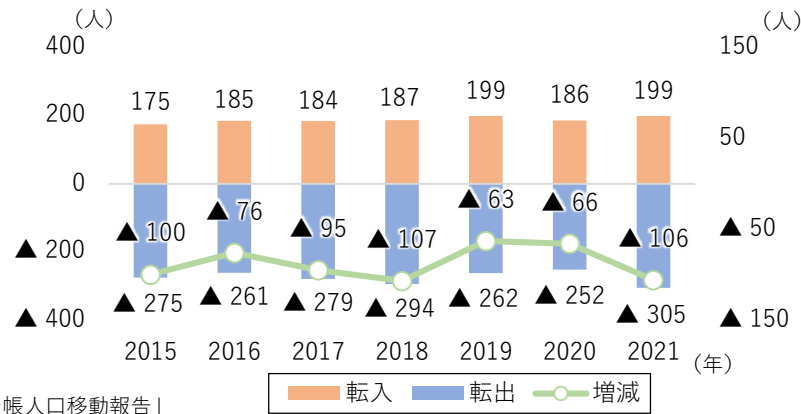
人口関連データ

- ・ 男性は転入超過傾向でしたが、2020年から転出超過に転じています。女性は転出超過が継続しています。
- ・ 大学等へ進学するタイミングで人口が減少しています。

【15歳～19歳男性 転出入数の推移（日本人のみ）】



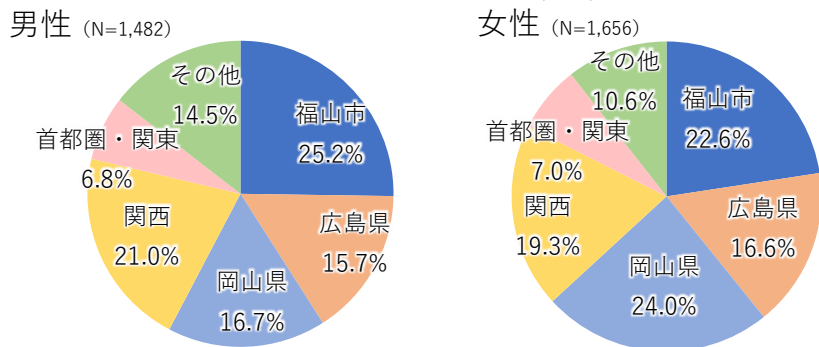
【15歳～19歳女性 転出入数の推移（日本人のみ）】



意識関連データ

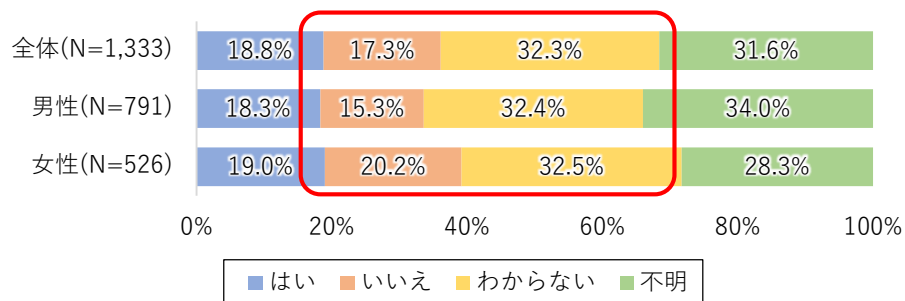
- ・ 男女ともに進学者の7割以上が市外に進学しており、将来地元に戻りたいと思わない人・わからない人が合わせて約5割います。
- ・ 戻りたくない理由として、就職したい業種・職種がないことや遊ぶ場所が少ないことが多くなっています。女性では特に買い物をしたいお店が少ないことをあげる人が多くなっています。
- ・ 希望する業種は、男性では製造業が、女性では医療・福祉が最も多くなっています。

【高校生の進学状況（SA）】



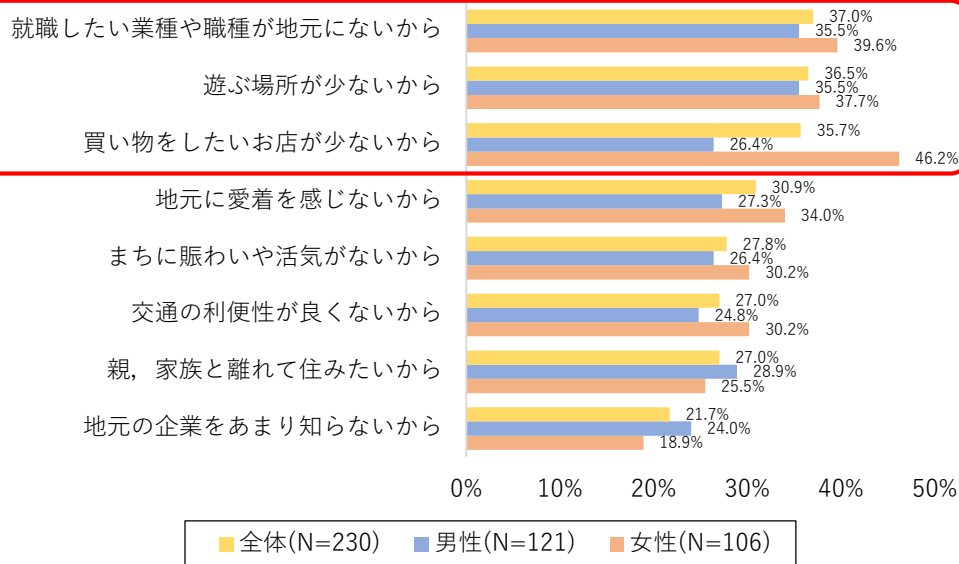
資料：福山市「高校生進学先調査」（2021年4月）

【将来、住んでいる市・町に戻ってきたいと思うか（SA）】



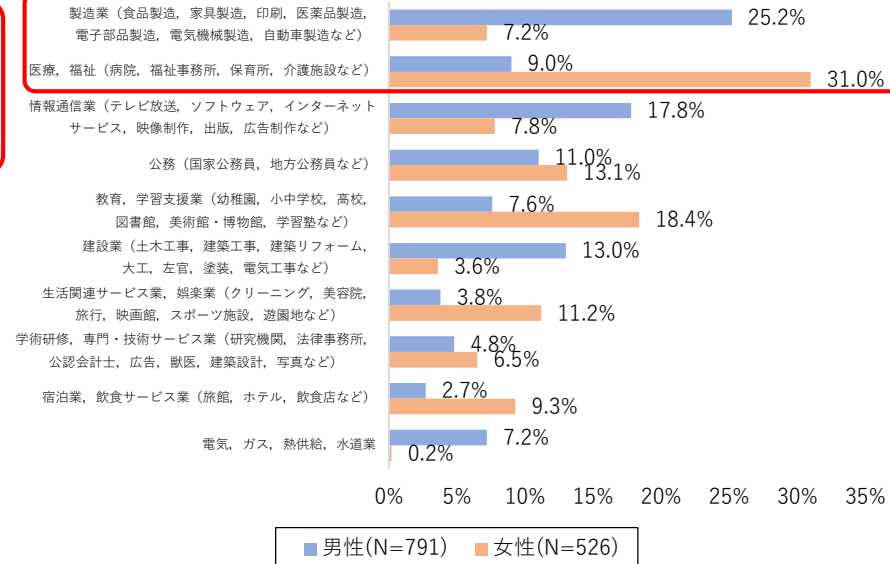
資料：福山市「若者（高校生）の定住志向に関するアンケート調査」（2020年7月）

【将来、戻ってきたいと思わない理由 (MA)】



資料：福山市「若者（高校生）の定住志向に関するアンケート調査」（2020年7月）
※性別で「その他」「不明」の回答者がいるため、男女の計が全体と一致しない。

【将来、働きたい業種（上位10項目） (MA)】



【高校生の声】

- カフェや勉強などができるフリースペースや、大型の商業施設など買い物を楽しめる場所がほしい。
- 新型コロナにより、1人暮らしから通学を考えるようになった。

資料：福山市「福山駅前広場に関するアンケート調査」（2021年12月）、福山市「高校卒業後に関するアンケート調査」（2021年4月）

ペルソナ設定

- ① 市外大学への進学を考えている
高校3年生の女子



広島市や岡山市など近隣の地方都市か大阪圏の大学へ進学したい。将来戻るかはわからない。

福山駅周辺に友達と遊んだり買い物できる場所が少ない。

- ② 地元企業への就職を予定している
高校3年生の男子



仕事は、デスクワークより体を動かす職場が希望。市内の製造業に就職したい。

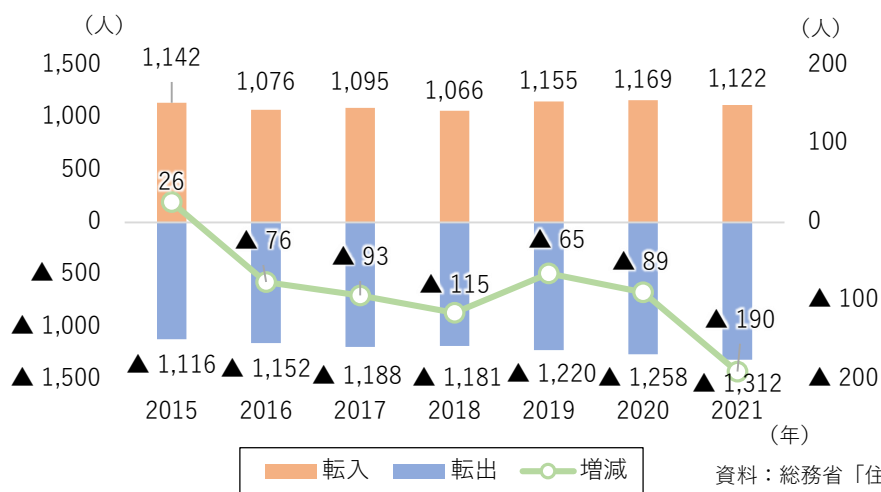
でも、市内で、安心して働き続けることができる企業についての知識がなく不安。

20歳代前半・就職期

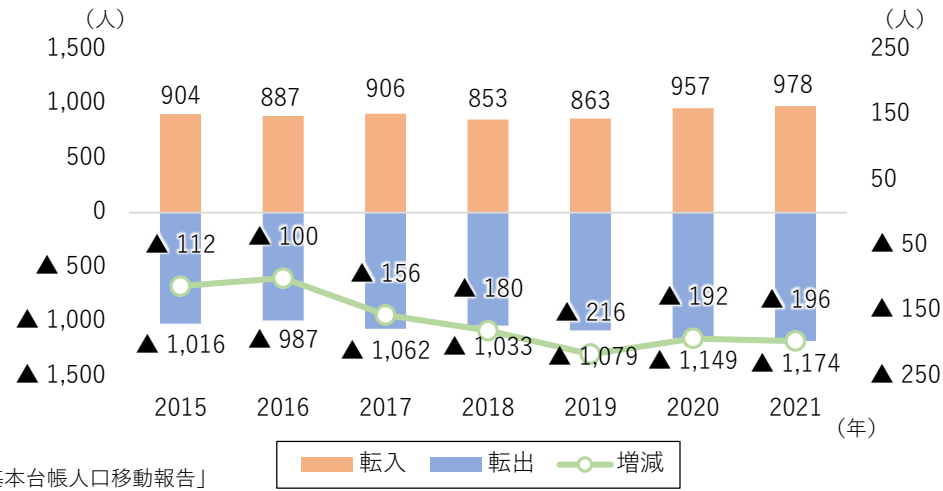
人口関連データ

- 20歳～24歳の転出超過は、男女ともに拡大傾向にあります。
- 就職等のタイミングで人口が大きく減少しています。

【20歳～24歳男性 転出入数の推移 (日本人のみ)】



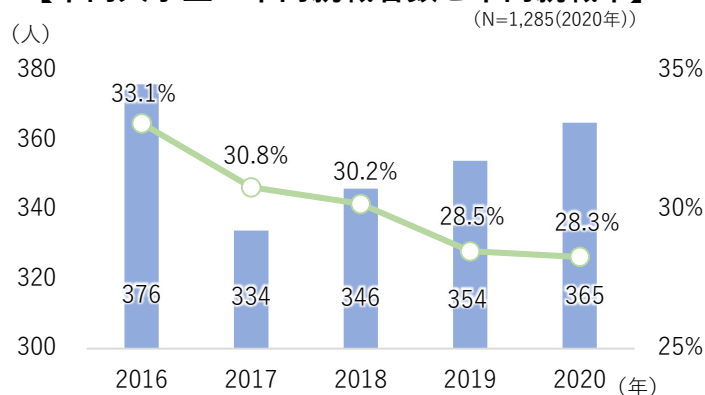
【20歳～24歳女性 転出入数の推移 (日本人のみ)】



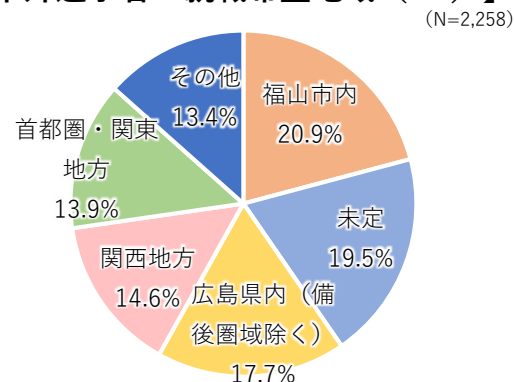
意識関連データ

- 市内大学生の市内就職率は約3割で、市外に進学した市外大学生の市内の就職希望は約2割となっています。
- 就職の条件は、福利厚生など職場環境の充実が最も多く、次いで企業の知名度や駅前の魅力向上を望む声が多くなっています。また、SDGsなど社会貢献度が高い企業も近年重要視されています。
- 加えて、新型コロナにより、テレワークなど柔軟な働き方を望む声も多くなっています。また、採用活動のオンライン化を望む声も多くなっています。

【市内大学生の市内就職者数と市内就職率】

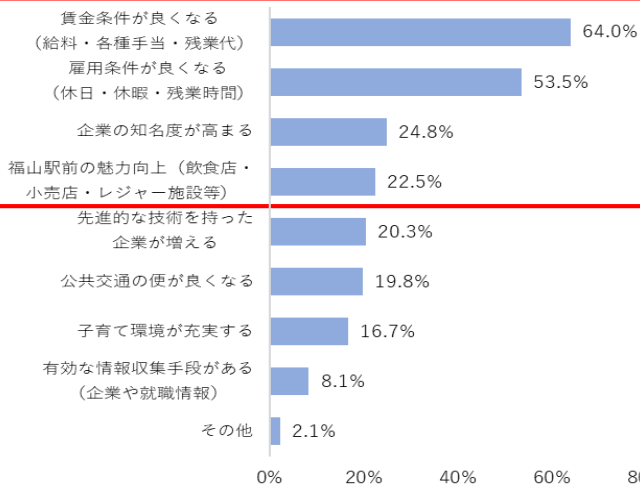


【市外進学者の就職希望地域 (SA)】



【市内の企業へ就職したいと思う条件 (MA)】

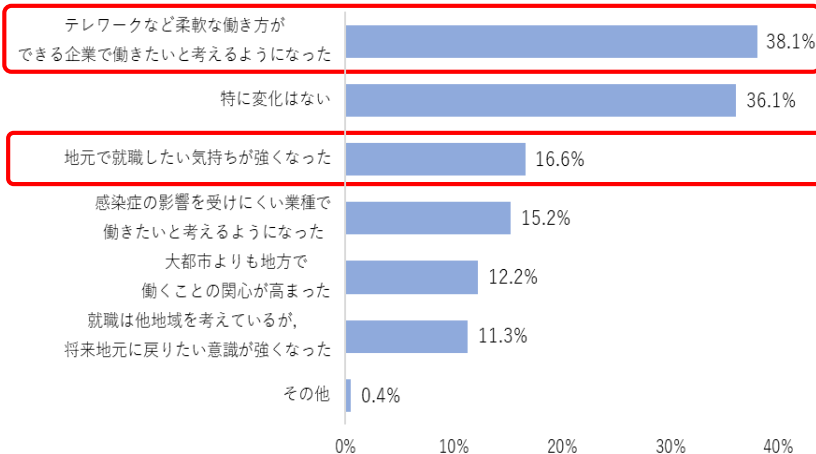
(N=2,258)



資料：福山市「ふるさと学生応援バックアンケート調査」(2021年12月)

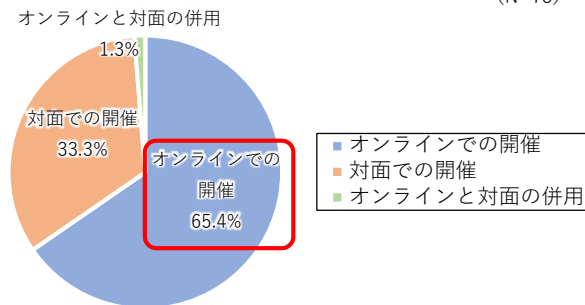
【コロナ感染拡大による意識変化 (MA)】

(N=2,258)



【コロナ収束後の企業説明会はどうあるべきか (SA)】

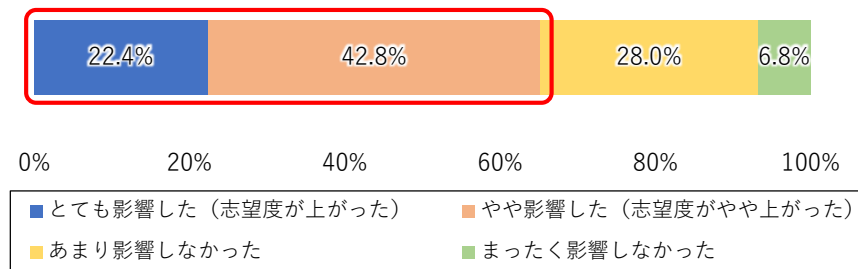
(N=78)



資料：福山地方雇用対策協議会「福山・府中就職ガイダンスPART2 参加者アンケート」(2021年6月)

【企業の社会貢献度の高さによる就職志望度への影響 (SA)】

(N=853)



資料：株式会社ディスコ「就活生の企業選びとSDGsに関する調査」(2020年8月)

ペルソナ設定



③ 福山で就職するかどうかが悩んでいる 大学3年生

福山で就職するかどうかが悩んでいる。地元企業のことすら分からなくて不安。

働くなら福利厚生が充実していることはもちろん、テレワークやWEB会議など、デジタル化に取り組んでいる職場で働きたいな。

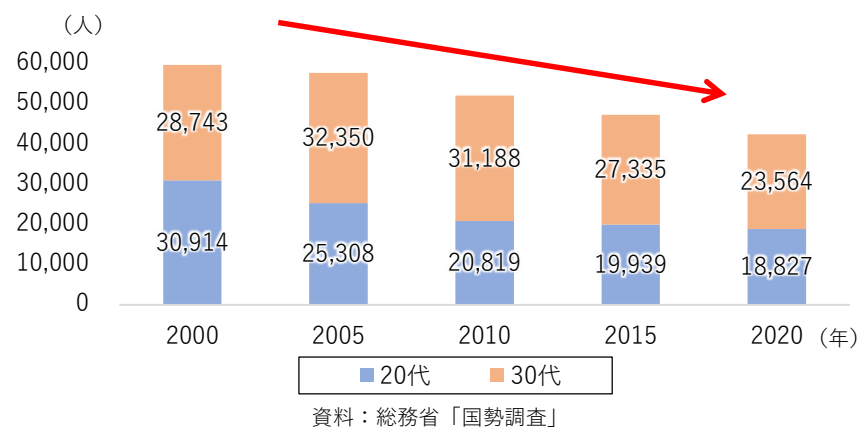
福山駅周辺の魅力が高まり、にぎわいが増えるといいな。

20～30歳代・子育て期

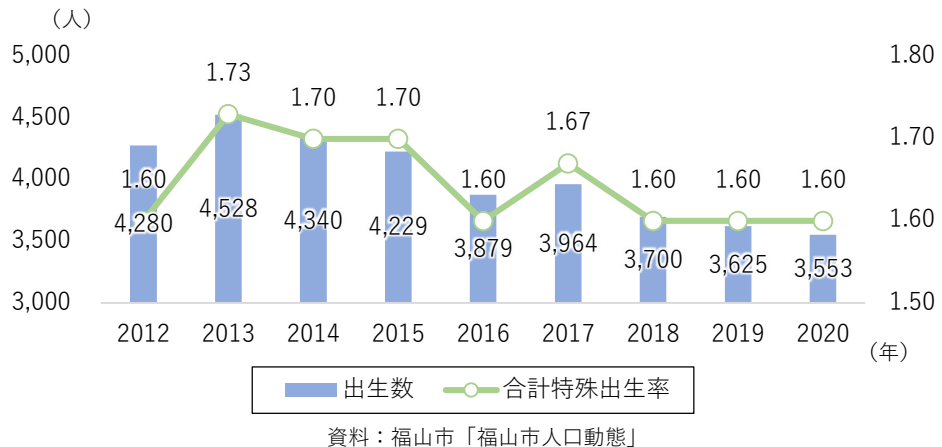
人口関連データ

- 20～30歳代の女性の数が減少し続けています。
- 合計特殊出生率は、全国や広島県と比べて高い数値を維持しているものの、20歳～30歳代の女性の数が減少していることが、出生数の減少に影響しています。

【20歳代・30歳代女性の人口（日本人のみ）】



【出生数と合計特殊出生率の推移（日本人のみ）】

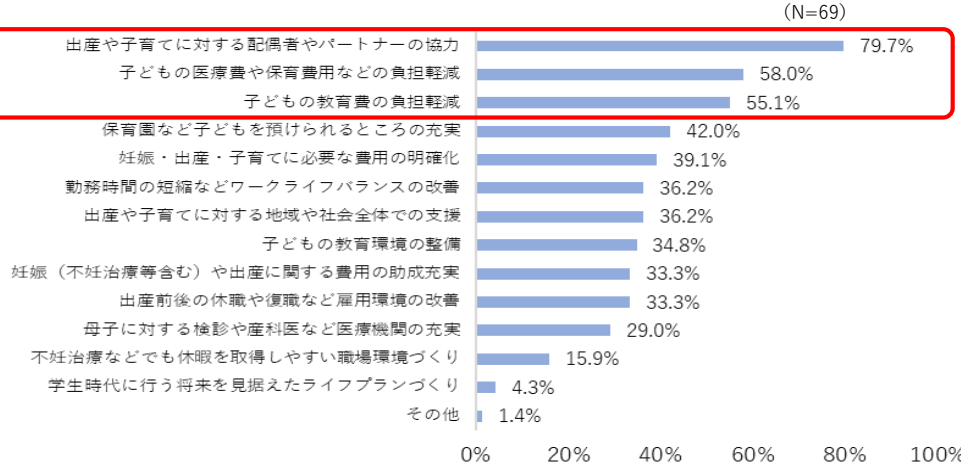


妊娠希望

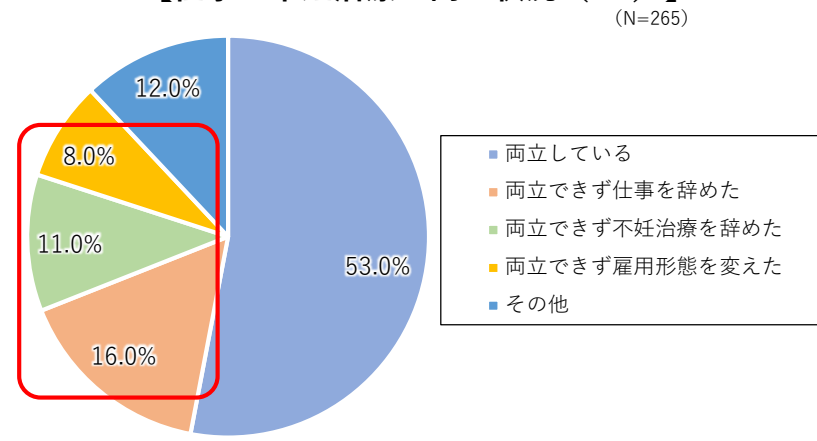
意識関連データ

- 理想の子どもの人数をもつための条件として、配偶者やパートナーの協力、妊娠・出産に関する費用への支援や子育てを含めた必要な費用の明確化が求められています。

【理想の子どもの人数をもつための条件（MA）】



【仕事と不妊治療の両立状況（SA）】



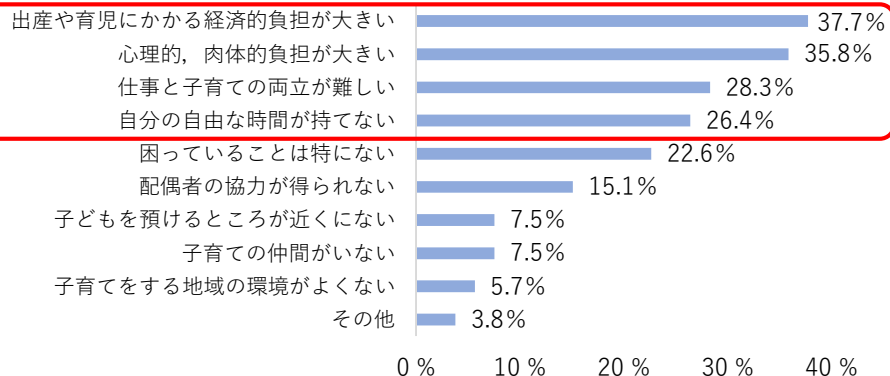
子育て中

意識関連データ

- 子育てをする上で、**出産や育児にかかる経済的負担、心理的・肉体的負担の大きさや、仕事と子育ての両立の難しさに不安や悩み**を抱えています。子育てと仕事の両立には、**職場の理解向上や配偶者の協力、保育施設などの充実**を求める声が多くなっています。
- 新型コロナにより、**生活実態に合わせた柔軟な働き方**を求める声が多くなっています。また、テレワークの定着により、**家族と過ごす時間が増えた人も**多くなっています。
- ひとり親世帯では、**子どもの教育費や進学先・受験に関する悩み**が多くなっています。困っていることは、**家計をあげる人が最も**多くなっています。

【子育てをする上での不安や悩み (MA)】

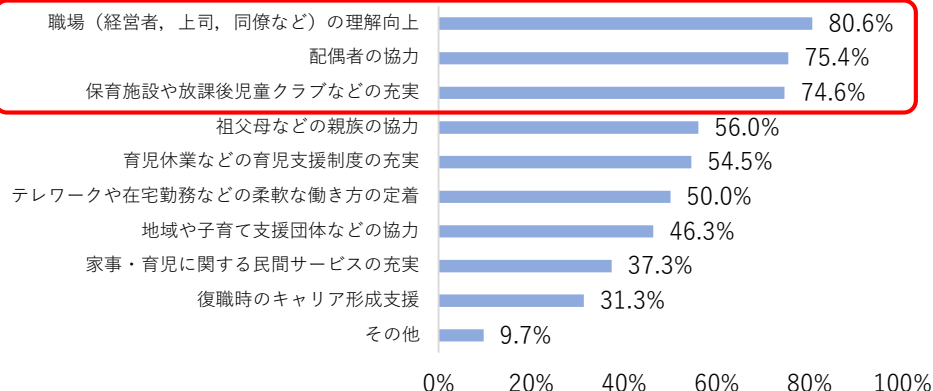
(N=53)



資料：福山市「市政に対するニーズ把握のための定量調査」(2018年)
福山市在住、既婚、子どもありの回答者を集計

【子育てと仕事を両立するために効果的なこと (MA)】

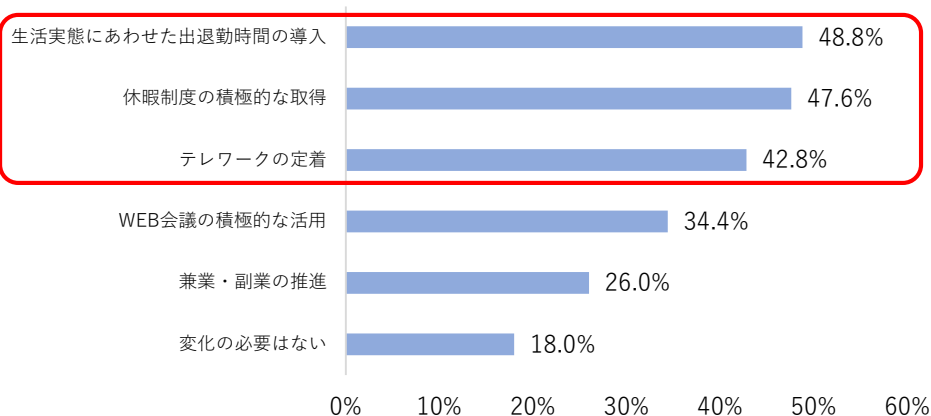
(N=523)



資料：福山市「2021年度（令和3年度）第2回福山市市政モニター調査」(2021年8月)
子育て世帯の回答者を集計

【コロナ収束後の働き方はどうあるべきか (女性) (MA)】

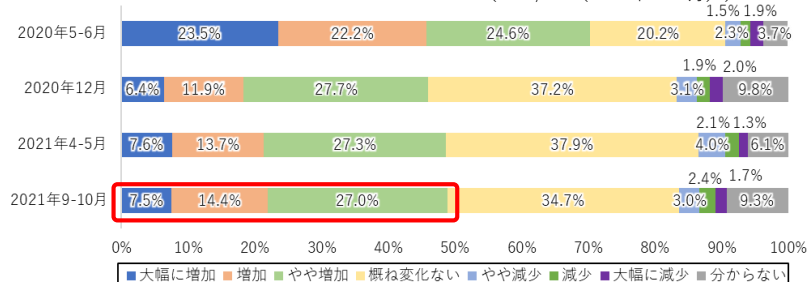
(N=250)



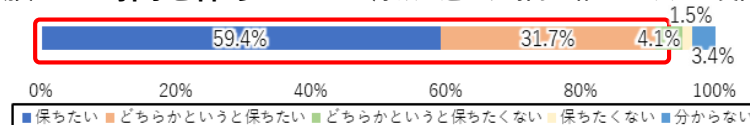
資料：福山市「新型コロナウイルス感染症による住民の意識・行動変化に関するアンケート調査」(2020年6月) 備後圏域在住、女性の回答を集計

【家族と過ごす時間 (18歳未満の子がいる)】

(N=1,953 (2021年9-10月))



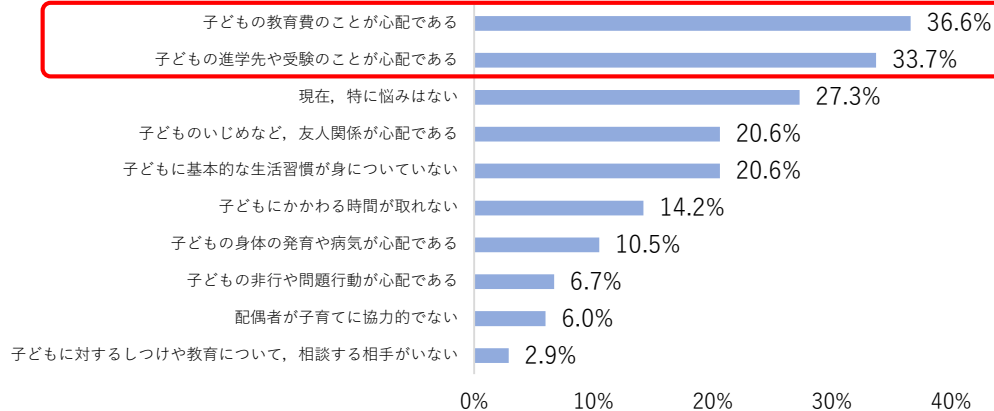
【家族との時間を保ちたいか (家族と過ごす時間が増加した人への質問)】



資料：内閣府「第4回新型コロナウイルス感染症の影響下における生活意識・行動の変化に関する調査」(2021年11月)

【子どもについて悩んでいること (MA)】

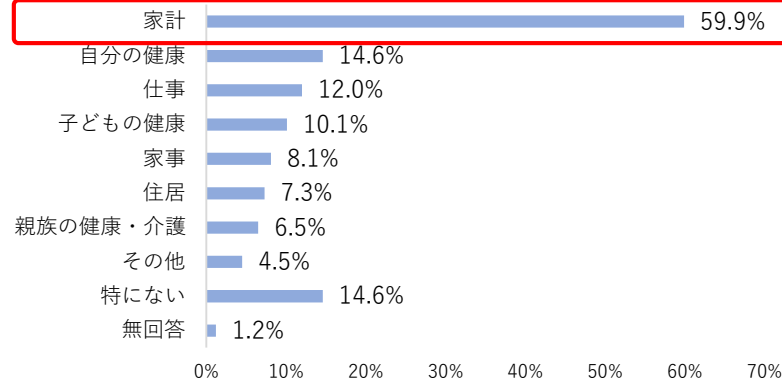
(N=1,324)



資料：福山市「福山市子どもの生活に関する実態調査」(2018年)
小学5年生保護者

【母子世帯の母が現在困っていること (MA)】

(N=644)



資料：広島県「ひとり親家庭等自立支援施策の需要調査」(2019年10月)
母子世帯の回答

ペルソナ設定

④ 出産を機に退職した25～39歳 子育て中の専業主婦



子どもに何かあっても夫(妻)は休んでくれないので、仕事を辞めた。

子育てが少し落ち着いたら、子育てとの両立ができるよう、生活に合った働き方をしたい。

2人目がほしいけど、家事や育児のストレスが溜まって、体と心がしんどい。

⑥ 妊娠を希望している25～39歳 共働き夫婦



結婚して5年。そろそろ子どもがほしいが、経済面で不安。

不妊治療にも行きたいけど、仕事との両立が難しい。

⑤ 3人目を考えている25～39歳 子育て中の共働き女性



3人目を考えているけど、経済面の不安だけでなく、夫の育児へのサポートにも不満。

夫の会社に休暇制度はあるけど、子どもの体調不良などで休むのはいつも私。

近くに家族で楽しめる場所があるといいな。

⑦ 二人の子どもを育てている25～39歳 シングルマザー



子育てや教育にお金がかかるので、経済的に不安。

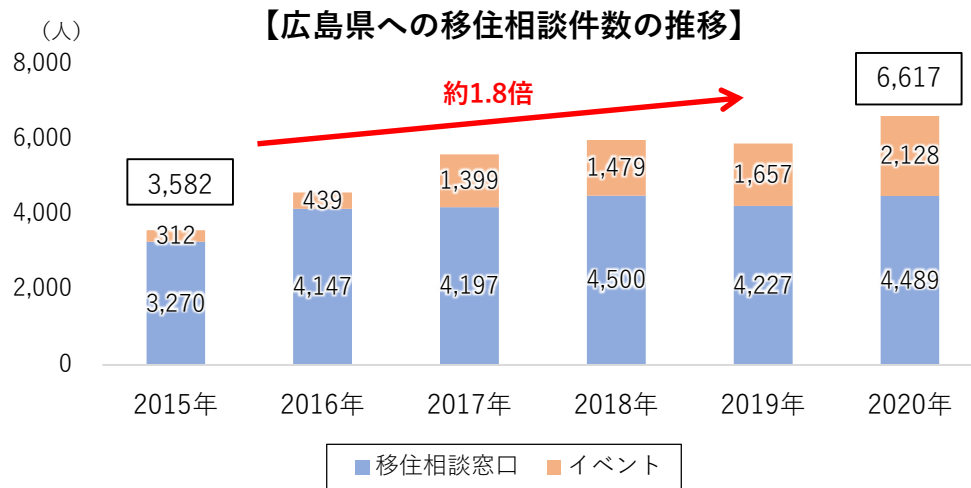
頼れる人や気軽に相談できる人が近くにいたらいいな。

子育てとの両立がしやすい、柔軟な働き方ができる職場で働きたい。

20～30歳代・移住

人口関連データ

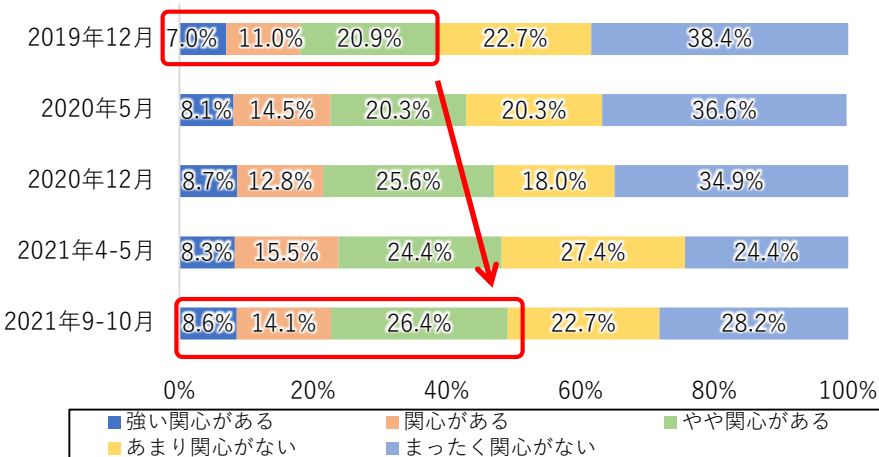
- 広島県への移住相談件数は年々増加し、2020年は2015年の2倍程度まで増えるなど、移住への関心が高まっています。



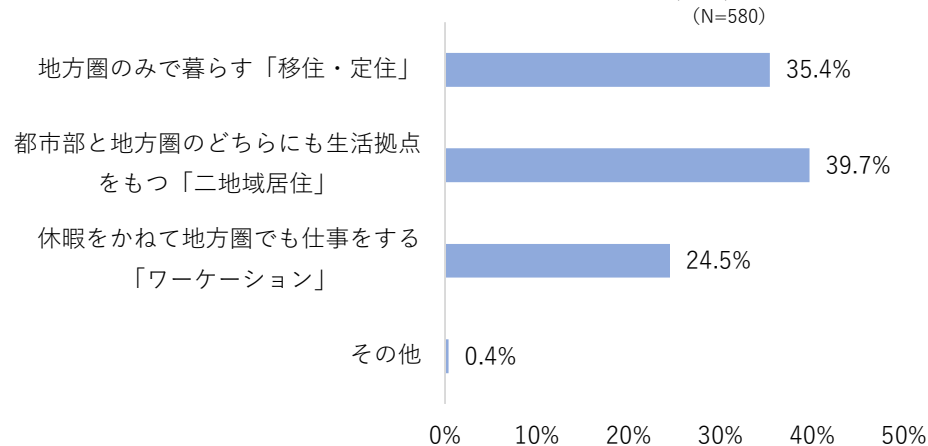
意識関連データ

- 新型コロナにより、地方移住への関心が高まっており、自分のキャリアを生かした仕事や地域に密着した仕事を希望していますが、移住先で仕事を見つけることがハードルとなっています。
- 移住を検討している子育て世帯は、子育てや教育に関する支援や環境を特に重視しています。

【地方移住への関心（東京都23区在住者）（20歳代）（SA）】

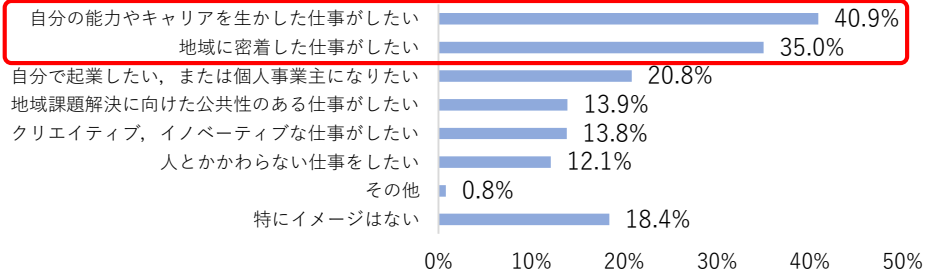


【希望の地方暮らしのスタイル（SA）】



【地方圏でやりたい仕事のイメージ (MA)】

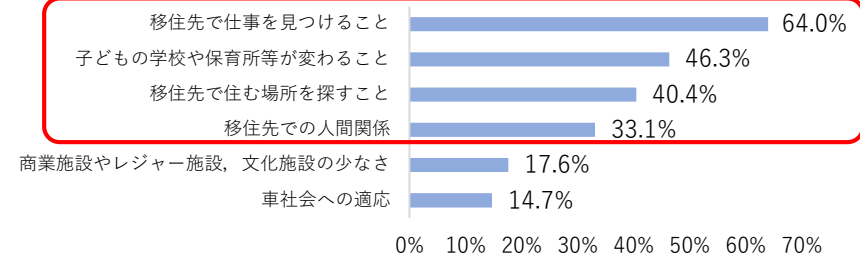
(N=1,648)



資料：内閣官房「東京圏以外の地域（地方圏）での暮らしの意識・行動を把握するためのWEBアンケート調査」（2020年1月）

【移住のハードル (MA)】

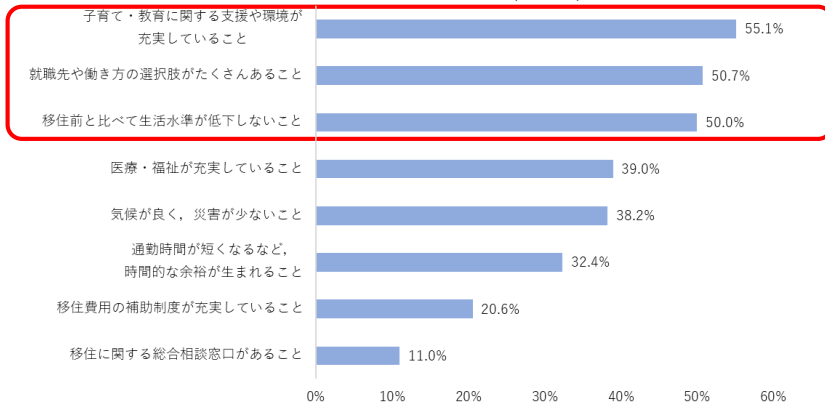
(N=136)



資料：福山市「福山移住に関するアンケート」（2021年3月）
30~40歳代、子ども（小学生未満）と同居している回答者を集計

【移住先で重視すること (MA)】

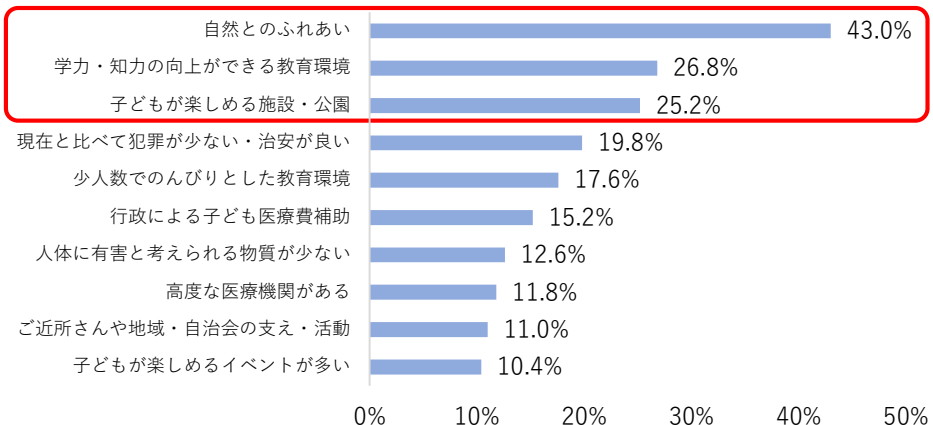
(N=136)



資料：福山市「福山移住に関するアンケート」（2021年3月）
30~40歳代、子ども（小学生未満）と同居している回答者を集計

【移住先の子育て環境で重視する条件 (上位10項目) (MA)】

(N=500)



資料：一般社団法人移住・交流推進機構「若者の移住」調査（2017年1月）

ペルソナ設定

- ⑧ 地方での「働く・暮らす」に関心がある
25~39歳 **未婚の会社員**



住む場所に制限されない働き方を実現したいが、なかなか一歩が踏み出せない。

地方への関心が高まっているが、地域の人や地元企業との関わりがなく、暮らしや働き方のイメージが湧かない。

- ⑨ 一家で移住を考えている25~39歳
既婚の男性会社員



自然豊かな環境で子育てをしたいが、待機児童や地方の教育環境が不安。

地元で家を持つことや親の介護など、将来設計を考えないと。

関西圏などの企業に就職したけど、自分のスキルを地元の企業で生かしたい。